



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日

上場会社名 株式会社ファインシンター 上場取引所 東・名  
 コード番号 5994 URL https://www.fine-sinter.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 井上 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,518	△19.9	△520	—	△605	—	△716	—
2020年3月期第3四半期	30,598	2.1	720	△30.0	544	△38.6	192	△44.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △71百万円( —%) 2020年3月期第3四半期 435百万円( 190.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△162.71	—
2020年3月期第3四半期	43.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	47,793	18,078	33.1	3,591.08
2020年3月期	46,817	18,431	34.8	3,704.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 15,804百万円 2020年3月期 16,301百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△15.7	0	△100.0	△130	—	△480	—	△109.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,420,000株	2020年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	19,062株	2020年3月期	19,035株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	4,400,949株	2020年3月期3Q	4,401,023株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は24,518百万円と前年同四半期に比べ6,080百万円(19.9%)の減収、営業損失は520百万円、経常損失は605百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は716百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間(3カ月間)での売上高は9,909百万円(前年同四半期比1.3%減)、営業利益は825百万円(前年同四半期比190.6%増)となり、第2四半期に続き前年同四半期比増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、第1四半期連結会計期間は新型コロナウイルス感染拡大に伴う、自動車関連メーカー各社の操業停止及び稼働調整の影響等で前年同四半期に比べ48.3%の減収となったのに対し、第2四半期連結会計期間は同11.9%減収、当第3四半期連結会計期間は同2.3%増収まで回復しました。当社グループとしては、休業日設定を含む稼働調整や省人及び固定費圧縮等の収益構造改善に取り組みました。

鉄道車両用部品につきましては、新幹線用ブレーキライニング及び新幹線用すり板の搭載車両増加がありましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う減便の影響により売上高は前年同期比で減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は23,533百万円と前年同四半期と比べ5,555百万円(19.1%)の減収となり、セグメント利益につきましては、656百万円と前年同四半期と比べ1,226百万円(65.1%)の減益となりました。

#### ②油圧機器製品事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、画像診断機器用で売上があったものの、主力であるデンタルチェア用製品は、アジア向けを中心に売上が大幅に落ち込みました。

第1四半期連結会計期間は前年同四半期に比べ22.9%減収、第2四半期連結会計期間は同46.8%減収、当第3四半期連結会計期間は同33.8%減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は978百万円と、前年同四半期と比べ524百万円(34.9%)の減収となり、セグメント利益につきましては、203百万円と前年同四半期と比べ233百万円(53.5%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、新型コロナウイルス感染拡大リスクへの備えなどによる現金及び預金の増加(前連結会計年度末比921百万円増)、電子記録債権の増加(前連結会計年度末比140百万円増)等により、19,266百万円(前連結会計年度末比1,255百万円増)となりました。固定資産につきましては、新規品用設備投資はあるものの減価償却が進み、有形固定資産は減少(前連結会計年度末比614百万円減)の一方、株価回復に伴う評価額の上昇による投資有価証券の増加(前連結会計年度末比280百万円増)、四半期特有の会計処理による繰延税金資産の増加(前連結会計年度末比60百万円増)等により、28,526百万円(前連結会計年度末比279百万円減)となりました。

以上により、資産合計は47,793百万円(前連結会計年度末比976百万円増)となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債につきましては、賞与引当金の減少(前連結会計年度末比484百万円減)、電子記録債務の減少(前連結会計年度末比292百万円減)、営業外電子記録債務の減少(前連結会計年度末比700百万円減)の一方、新型コロナウイルスのリスクへの備えとして短期借入金の増加(前連結会計年度末比2,053百万円増)等により、19,158百万円(前連結会計年度末比611百万円増)となりました。固定負債につきましては、国内新規品用設備等の資金として長期借入金の増加(前連結会計年度末比677百万円増)等により、10,556百万円(前連結会計年度末比717百万円増)となりました。

この結果、負債合計は29,714百万円(前連結会計年度末比1,329百万円増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が892百万円減少、その他の包括利益累計額は394百万円増加したものの、非支配株主持分を除くと15,804百万円(自己資本比率33.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。

詳細につきましては、本日(2021年2月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,527,645	5,449,286
受取手形及び売掛金	6,618,879	6,724,323
電子記録債権	1,261,895	1,401,954
商品及び製品	1,153,928	1,111,350
仕掛品	1,629,031	1,724,497
原材料及び貯蔵品	2,530,884	2,440,642
その他	289,148	414,854
流動資産合計	18,011,414	19,266,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,475,651	13,615,429
減価償却累計額	△8,380,075	△8,669,589
建物及び構築物(純額)	5,095,576	4,945,839
機械装置及び運搬具	47,435,479	48,592,956
減価償却累計額	△35,167,862	△36,554,609
機械装置及び運搬具(純額)	12,267,616	12,038,347
工具、器具及び備品	5,783,991	6,231,500
減価償却累計額	△4,717,589	△5,356,637
工具、器具及び備品(純額)	1,066,401	874,863
土地	3,537,447	3,536,843
リース資産	1,165,193	1,283,953
減価償却累計額	△468,139	△538,157
リース資産(純額)	697,054	745,795
建設仮勘定	2,429,194	2,336,705
有形固定資産合計	25,093,290	24,478,394
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	45,788	27,070
その他	344,588	391,545
無形固定資産合計	401,785	430,023
投資その他の資産		
投資有価証券	1,720,689	2,001,376
長期貸付金	8,264	9,892
繰延税金資産	1,486,242	1,547,171
その他	95,589	59,517
投資その他の資産合計	3,310,786	3,617,957
固定資産合計	28,805,862	28,526,376
資産合計	46,817,276	47,793,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,762,531	2,832,121
電子記録債務	2,635,904	2,343,238
短期借入金	7,065,378	9,119,012
1年内返済予定の長期借入金	1,813,115	2,098,672
リース債務	126,526	126,658
未払法人税等	234,171	53,813
未払消費税等	162,616	155,321
未払費用	643,865	737,898
賞与引当金	922,381	437,956
役員賞与引当金	46,593	32,574
設備関係支払手形	162,983	11,962
営業外電子記録債務	1,012,806	311,962
その他	957,583	896,810
流動負債合計	18,546,457	19,158,003
固定負債		
長期借入金	4,401,778	5,079,301
リース債務	669,716	721,255
繰延税金負債	24,755	23,543
役員退職慰労引当金	131,898	118,261
退職給付に係る負債	4,269,945	4,267,598
資産除去債務	340,799	346,957
その他	454	—
固定負債合計	9,839,348	10,556,916
負債合計	28,385,806	29,714,920
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	12,102,942	11,210,807
自己株式	△30,798	△30,849
株主資本合計	15,996,753	15,104,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	599,494	794,596
為替換算調整勘定	△143,536	△33,020
退職給付に係る調整累計額	△151,087	△62,019
その他の包括利益累計額合計	304,869	699,555
非支配株主持分	2,129,847	2,274,242
純資産合計	18,431,470	18,078,366
負債純資産合計	46,817,276	47,793,286

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	30,598,837	24,518,493
売上原価	26,687,638	22,251,240
売上総利益	3,911,198	2,267,252
販売費及び一般管理費	3,190,866	2,787,865
営業利益又は営業損失(△)	720,331	△520,612
営業外収益		
受取利息	11,499	7,000
受取配当金	60,327	51,295
助成金収入	—	191,945
作業くず売却収入	23,564	16,899
雑収入	50,690	30,084
営業外収益合計	146,082	297,225
営業外費用		
支払利息	224,994	151,278
固定資産除却損	62,278	37,819
為替差損	14,323	24,659
稼働停止に伴う費用	—	97,371
雑支出	20,170	70,603
営業外費用合計	321,766	381,731
経常利益又は経常損失(△)	544,648	△605,118
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	544,648	△605,118
法人税等	234,038	△59,103
四半期純利益又は四半期純損失(△)	310,609	△546,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	118,249	170,081
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	192,359	△716,095



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	310,609	△546,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,985	195,101
為替換算調整勘定	△62,623	190,410
退職給付に係る調整額	52,450	89,011
その他の包括利益合計	124,812	474,524
四半期包括利益	435,421	△71,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,976	△320,989
非支配株主に係る四半期包括利益	49,444	249,498

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (セグメント情報等)

## 1. 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,088,633	1,503,307	30,591,941	6,896	30,598,837	—	30,598,837
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,088,633	1,503,307	30,591,941	6,896	30,598,837	—	30,598,837
セグメント利益	1,882,695	437,050	2,319,746	3,256	2,323,002	△1,602,670	720,331

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電に関する事業です。  
 2 セグメント利益の調整額△1,602,670千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,533,386	978,546	24,511,933	6,559	24,518,493	—	24,518,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,533,386	978,546	24,511,933	6,559	24,518,493	—	24,518,493
セグメント利益 又は損失(△)	656,518	203,108	859,626	3,349	862,976	△1,383,589	△520,612

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電に関する事業です。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,383,589千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。